

「胃がん治療法進歩」

製鉄記念室蘭病院セミナー、80人参加

室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院（松木高雪院長）による市民公開講座・第23回がんセミナーが25日、室蘭市知利別町の同病院で開かれ、市民ら80人が胃がんの原因や症状などを学んだ。

同病院の外科・消化

器外科の市村龍之助科長が胃がんについてをテーマに講話した。市村科長は「胃がんによる死亡者数は肺がんによ

次いで第2位となっている。喫煙や飲酒、塩分の取り過ぎ、ピロリ菌の感染など原因はさまざまです」と説明した。

「万一、胃がんにかかったとしても治療法は進歩しており、治療成績はかなり高くなっている。早期胃がんは内視鏡で切除することも可能なので検診を受けてください」と呼び掛けた。（石川綾子）



胃がんの原因などについて説明したがんセミナー